



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社jig.jp 上場取引所 東
コード番号 5244 URL https://www.jig.jp/
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 川股 将
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 田中 雄一郎（TEL） 03-6824-9561
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	7,359	10.3	1,075	△1.7	987	△3.1	630	23.8
2025年3月期中間期	6,672	11.0	1,094	24.1	1,019	13.3	509	△14.3

（注）包括利益 2026年3月期中間期 630百万円（23.8%） 2025年3月期中間期 509百万円（△14.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	15.09	—
2025年3月期中間期	12.09	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	7,257	4,723	65.1
2025年3月期	6,754	4,095	60.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,723百万円 2025年3月期 4,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	2.59	2.59
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	2.93	2.93

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	10.2	2,115	5.1	1,915	3.0	1,220	13.2	29.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社アンビリアル
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	42,568,400株	2025年3月期	42,568,400株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	492,200株	2025年3月期	900,000株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	41,786,906株	2025年3月期中間期	42,133,433株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料における将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（中間連結損益計算書関係）	9
（セグメント情報等の注記）	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、所得・雇用環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の政策動向の不確実性、金融資本市場の変動、資源価格の高騰、継続的な物価上昇による消費者マインドの下振れリスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社グループが主に事業展開を行うスマートフォン関連市場においては、2025年4月の内閣府『令和7年3月実施調査結果：消費動向調査』の報告によりますと、2025年3月末の国内スマートフォン世帯普及率は92.2%と高い水準を維持しております。

また、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場は新規利用者の増加や既存利用者による複数サービス併用による利用機会増加を受けて市場規模の成長が継続する中、新たに参入する企業や競合各社における積極的な広告宣伝販促活動、配信ユーザーの囲い込み等が継続し、競争は引き続き激化しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては、ライブ配信事業の「ふわっち」が前事業年度に引き続き、新たなアイテムや機能の提供等を通じてユーザーへの利便性や満足度を高めつつ、ユーザーエンゲージメントを高めることを企図したサービス内での新たなイベントの開催等を通じてユーザーを飽きさせない施策を定期的に実施しました。加えて、獲得効率を意識した効果的な広告宣伝活動を行いました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高7,359,301千円（前中間連結会計期間比10.3%増加）、営業利益1,075,328千円（前中間連結会計期間比1.7%減少）、経常利益987,773千円（前中間連結会計期間比3.1%減少）、親会社株主に帰属する中間純利益630,823千円（前中間連結会計期間比23.8%増加）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、一般消費者向け関連事業と自治体向け・企業向け関連事業であります。一般消費者向け関連事業の全セグメントに占める割合が高く、自治体向け・企業向け関連事業は開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は7,257,100千円となり、前連結会計年度末より502,154千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加385,323千円、売掛金の減少34,953千円、有形固定資産の増加32,240千円、無形固定資産の増加53,267千円、敷金保証金の増加894千円及び繰延税金資産の減少27,612千円によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は2,533,599千円となり、前連結会計年度末より125,588千円の減少となりました。これは主に、未払金の増加84,282千円、未払法人税等の減少126,411千円、未払消費税等の減少41,817千円、ポイント引当金の減少30,060千円、長期借入金の増加26,448千円及び預り保証金の減少30,000千円によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は4,723,501千円となり、前連結会計年度末より627,743千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上630,823千円、配当金の支払による107,921千円の支出、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により154,594千円増加及び自己株式の取得により38,205千円減少によるものであります。この結果、自己資本比率は65.09%となり、前連結会計年度末の60.63%に比べ、4.45ポイント上昇いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比べ385,323千円増加し、4,753,997千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、638,649千円（前中間連結会計期間は581,183千円の収入）となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益の計上987,773千円、減価償却費の計上23,040千円、株式報酬費用の計上71,334千円、のれん償却額の計上2,787千円及び売上債権の減少57,772千円によるものであります。主な減少要因は、ポイント引当金の減少30,060千円、預り保証金の減少30,000千円、未払消費税等の減少48,171千円及び法人税等の支払額447,435千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、71,044千円（前中間連結会計期間は6,540千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47,627千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出23,417千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、179,679千円（前中間連結会計期間は294,331千円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出33,552千円、自己株式の取得による支出38,205千円及び配当金の支払額107,921千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想については、2025年5月14日に開示した連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,368,673	4,753,997
売掛金	1,203,711	1,168,757
その他	88,975	165,962
流動資産合計	5,661,360	6,088,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	461,630	458,181
工具、器具及び備品（純額）	62,297	57,983
土地	36,849	76,853
有形固定資産合計	560,778	593,018
無形固定資産		
商標権	335	275
ソフトウェア	4,734	32,969
のれん	—	25,091
無形固定資産合計	5,069	58,337
投資その他の資産		
敷金保証金	191,714	192,609
繰延税金資産	335,565	307,953
その他	457	16,465
投資その他の資産合計	527,738	517,027
固定資産合計	1,093,585	1,168,383
資産合計	6,754,946	7,257,100

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	471	413
1年内返済予定の長期借入金	67,104	67,104
未払金	1,195,158	1,279,440
未払法人税等	464,140	337,728
未払消費税等	145,500	103,683
ポイント引当金	382,770	352,710
その他	123,906	115,935
流動負債合計	2,379,052	2,257,015
固定負債		
長期借入金	220,136	246,584
預り保証金	60,000	30,000
固定負債合計	280,136	276,584
負債合計	2,659,188	2,533,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,631	961,631
資本剰余金	980,984	969,436
利益剰余金	2,411,014	2,933,916
自己株式	△257,872	△141,483
株主資本合計	4,095,757	4,723,501
純資産合計	4,095,757	4,723,501
負債純資産合計	6,754,946	7,257,100

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,672,991	7,359,301
売上原価	321,270	458,617
売上総利益	6,351,720	6,900,683
販売費及び一般管理費	5,257,695	5,825,354
営業利益	1,094,025	1,075,328
営業外収益		
受取利息	305	4,123
助成金収入	3,148	—
講演料	423	420
ポイント還元収入	1,080	107
業務受託料	759	371
その他	322	407
営業外収益合計	6,040	5,431
営業外費用		
支払利息	1,123	1,137
固定資産除却損	—	15,943
為替差損	—	4,002
支払手数料	384	379
株式報酬費用	78,779	71,334
その他	—	188
営業外費用合計	80,287	92,986
経常利益	1,019,778	987,773
特別利益		
新株予約権戻入益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
臨時損失	※1 203,344	※1 —
特別損失合計	203,344	—
税金等調整前中間純利益	817,433	987,773
法人税、住民税及び事業税	266,004	329,336
法人税等調整額	41,786	27,612
法人税等合計	307,791	356,949
中間純利益	509,641	630,823
親会社株主に帰属する中間純利益	509,641	630,823

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	509,641	630,823
中間包括利益	509,641	630,823
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	509,641	630,823

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	817,433	987,773
減価償却費	8,866	23,040
株式報酬費用	78,779	71,334
のれん償却額	—	2,787
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△20	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△45,671	△30,060
受取利息	△305	△4,123
支払利息	1,123	1,137
新株予約権戻入益	△1,000	—
助成金収入	△3,148	—
固定資産除却損	—	15,943
売上債権の増減額(△は増加)	134,137	57,772
未払消費税等の増減額(△は減少)	△124,512	△48,171
預り保証金の増減額(△は減少)	—	△30,000
仕入債務の増減額(△は減少)	—	△58
その他	△34,241	35,722
小計	831,440	1,083,098
利息の受取額	305	4,123
利息の支払額	△1,123	△1,137
法人税等の支払額	△252,587	△447,435
助成金の受取額	3,148	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	581,183	638,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,395	△47,627
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	—	△23,417
差入保証金の差入による支出	△145	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,540	△71,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,552	△33,552
自己株式の取得による支出	△114,011	△38,205
配当金の支払額	△146,768	△107,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,331	△179,679
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△2,602
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	280,310	385,323
現金及び現金同等物の期首残高	3,420,470	4,368,673
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,700,780	4,753,997

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月17日開催の取締役会に基づき、譲渡制限付株式として539,800株の自己株式処分を行っております。また、2025年8月13日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間に自己株式132,000株の取得を行っております。これらを要因として、当中間連結会計期間において、自己株式が116,388千円減少しております。これらにより、当中間連結会計期間末において、自己株式が141,483千円となっております。

(中間連結損益計算書関係)

※1. 臨時損失

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社連結子会社が運営するライブ配信サービス「ふわっち」におけるアイテム購入に関して、特定のユーザーにおいて、購入アイテムの使用後にプラットフォーム側での多数のリファンド(注)(以下、「本事案」という。)が確認されました。本事案に関する当社見解として、リファンド対象となったアイテムは当社サービス内の複数のライブ配信にて正常に使用されていることから当社は履行義務を果たしており、本事案は悪質で不当なリファンドであります。

また、当社は適切なアプリ運営を行い、一切の過失がなく、損害を被ったことから、当社はプラットフォーム一及び経済産業省等に本事案を通告するとともに、弁護士及び警察等の関係各所へ相談を実施しており、厳正に対処している状況であります。

上記状況のもと、主に本事案が発覚した2024年7月下旬迄のアイテム購入分を対象として、前中間連結会計期間においてリファンド対象となったアイテム購入分の売上を現時点にて回収の見込みが立っていないことから、同期間に発生した本事案に係る売上未回収分(但し、決済手数料を控除)に相当する203,344千円を臨時損失として特別損失に計上したものであります。

なお、当社は本事案に対する上記を含めた諸対策を講じたことで、本事案の発覚以降においては本事案を防止できている状況であります。

注. リファンドとは、購入したアイテムに関して一定期間内に返金する(払い戻す)ことを意味します。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは、一般消費者向け関連事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは、一般消費者向け関連事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。